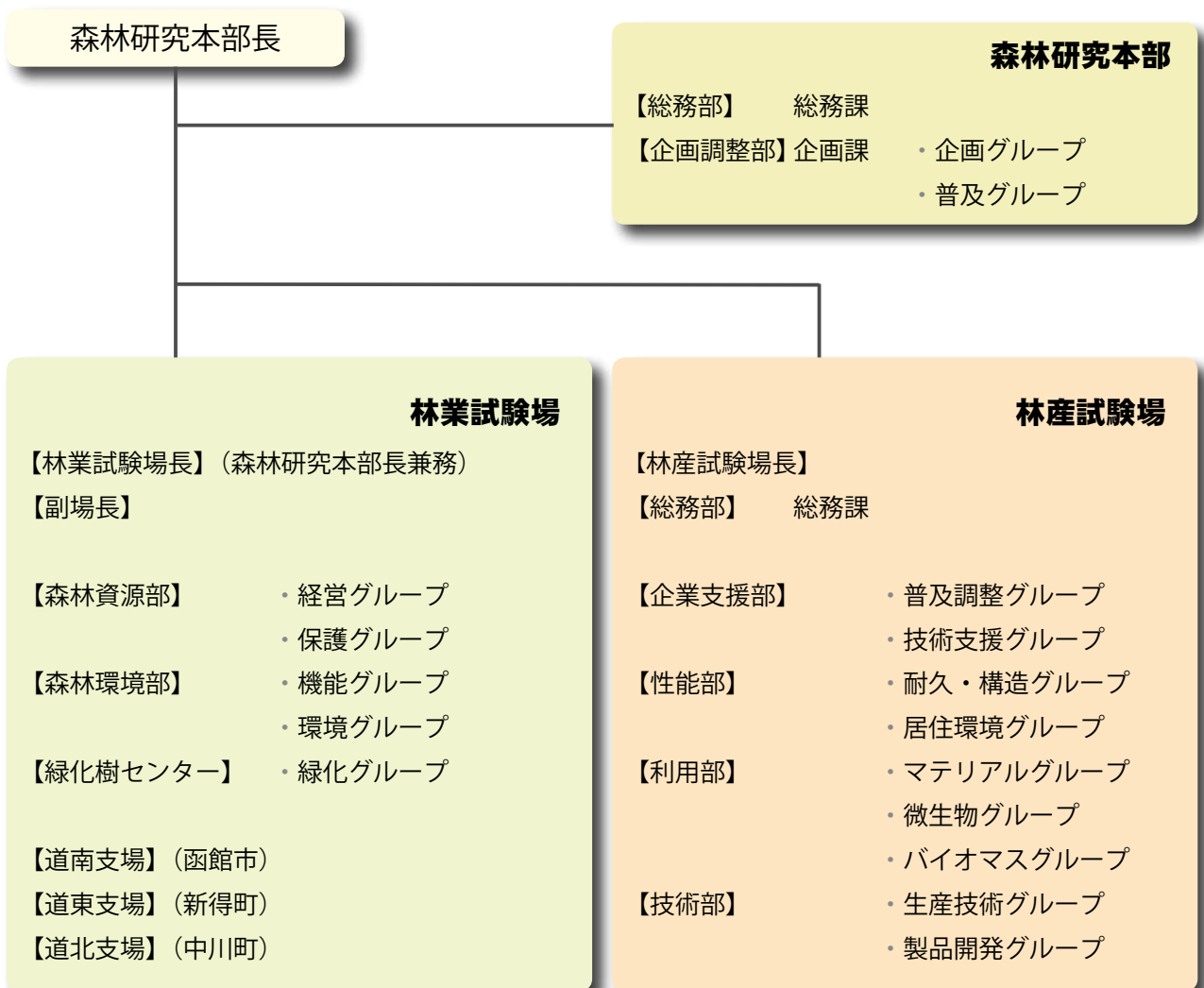


Organization 組織

研究本部

Research Department

森林研究本部 組織図



試験場

Research Institute

■ 林業試験場 Forestry Research Institute



森林 資源の充実や林業経営の改善、森林の公益的機能の高度発揮、身近なみどり環境の充実など、森林・林業・みどり環境に関する試験研究を実施しています。

■ 林産試験場 Forest Products Research Institute



木材 産業の基盤技術の改善改良や新製品新技術の開発、未利用・低利用の森林資源の高度利用技術の開発など、木材の利用に関する試験研究を実施しています。

森林研究本部が取り組む研究推進項目

3 森林に関する研究推進項目（第1期中期計画より抜粋）

(1) 地域の特性に応じた森林づくりとみどり環境の充実

ア 森林の多面的機能の発揮のための研究開発

道民の安全でうるおいのある暮らしを守り育むため、森林の公益的機能の持続的発揮を図る森林管理技術や道民の森林との関わりを促す技術開発に取り組む。

- ・地球環境及び国土を保全する森林管理技術の研究と開発
- ・道民の生活環境を守る森林管理技術の研究と開発
- ・森林とのふれあいや道民の森林づくり活動を支援する研究と技術開発

イ 森林の生物多様性保全と健全性維持のための研究開発

森林に依存する生物の多様性を保全するとともに、健全な森林を維持するため、生態系に配慮した森林管理技術や諸被害から森林を守る技術開発に取り組む。

- ・生物多様性を確保する森林管理技術の研究と開発
- ・森林・樹木の健全性を維持するための研究と技術開発

ウ 身近なみどり環境の充実のための研究開発

みどり豊かな都市環境等の創出のため、新しい緑化樹等の生産技術や地域に適した緑化の推進を図る技術開発に取り組む。

- ・北海道の風土に適した緑化樹等の新品種や生産技術の研究と開発
- ・北国の環境に適した緑化技術や維持管理技術の研究と開発

(2) 林業の健全な発展と森林資源の循環利用の推進

ア 林業の持続的な発展のための研究開発

森林資源の充実と持続的利用を図るため、優良な造林用品種や育林技術の開発と林業経営の効率化に資する技術開発に取り組む。

- ・森林資源の充実を図る育林技術の研究と開発
- ・森林施業の低コスト化と森林資源の高度利用を図る技術の研究と開発
- ・新たな品種開発に向けた林木育種技術の研究と高度化

イ 森林バイオマスの総合利用の推進のための研究開発

地域に分散する森林資源のカスケード利用と化石資源との代替を推進するため、森林バイオマスの変換技術や利用技術の研究開発に取り組む。

- ・環境負荷の低い木材の改質・利用技術の研究と開発
- ・森林バイオマスの成分・エネルギー利用技術の研究と開発

(3) 技術力の向上による木材関連産業の振興

ア 木材・木製品・木質構造物の安全性・信頼性・快適性向上のための研究開発

木材・木製品・木質構造物の需要拡大を図るため、安全性・信頼性の向上や居住環境の改善に向けた研究開発に取り組む。

- ・木材・木製品の耐久性、耐火性の向上及び評価技術の研究と開発
- ・安全で合理的な木質構造物の評価・設計技術の研究と開発
- ・木材利用による居住性・快適性の評価技術の研究と開発

イ 特用林産物の高付加価値化のための研究開発

道産きのこの競争力強化を図るため、健康増進や食生活の多様化など消費者ニーズに的確に対応したきのこの高付加価値化に向けた研究開発に取り組む。

- ・機能性や食味に優れたきのこの生産・利用技術の研究と開発

ウ 木材加工技術や生産・流通システムの高度化のための研究開発

道内木材産業の競争力強化を図るため、成熟期を迎えつつある人工林資源の付加価値を高める加工技術や資源状況の変化を見据えた生産・流通システムの構築に向けた研究開発に取り組む。

- ・道産人工林材による高品質な建築材の生産技術の研究と開発
- ・市場性の高い木製品や機械・装置等の研究と開発
- ・地域材の効率的生産・流通システムの研究と開発